
地域コミュニティ推進協議会 会員向けアンケート結果

令和8年5月

池田市 総合政策部 地域未来課

目 次

1. 調査概要	1
2. 回答者の属性	2
3. 調査結果	
問1	11
問2	11
問3	12
問4	13
問5	13
問6	14
問7	18
問8	19
問9	20
問10	20
問11	21
問12	22
問13	22
問14	23
問15	23
問16	24
4. 参考資料	
調査票	28

1. 調査概要

(1) 調査目的

来年度、地域分権制度を活用した事業提案が20回目となる節目の年を迎えるにあたり、これまでの活動実績を検証するとともに、原点に立ち戻って今後の制度のあり方について検討を行うため、地域コミュニティ推進協議会で現に活動している会員の意見を聴取したもの

(2) 調査設計

対 象 者：地域コミュニティ推進協議会の会員

(参考：令和7年4月時点 会員数総数 406名)

調査方法：各地域コミュニティ推進協議会へ調査票を配布し、郵送またはインターネットにて回収

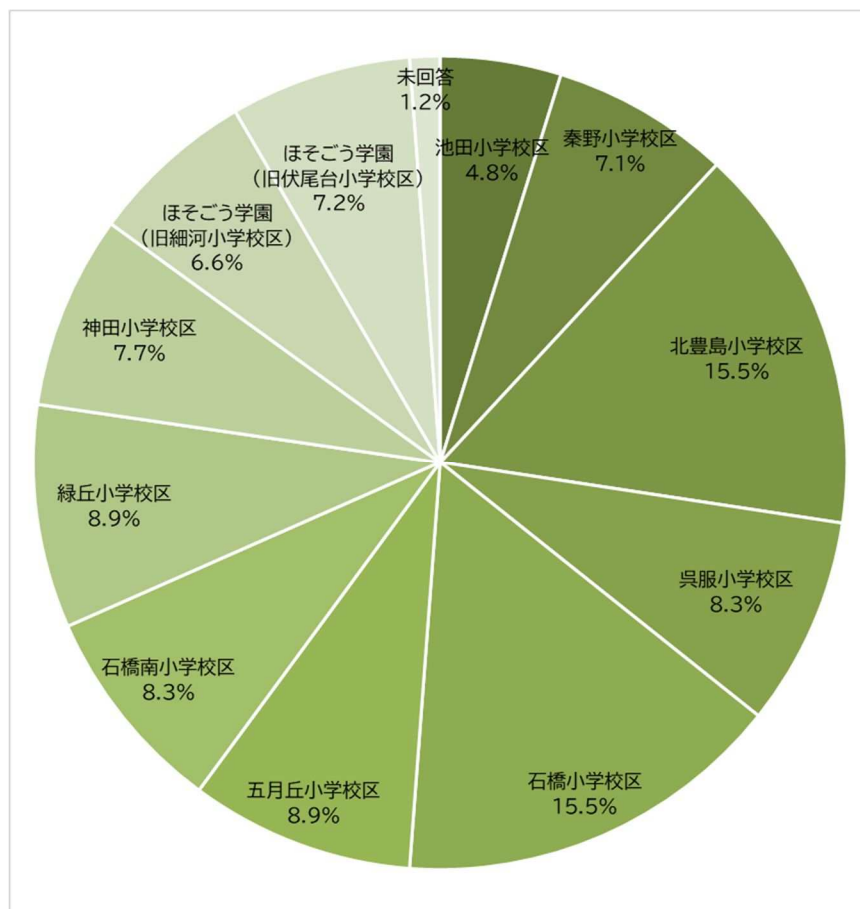
調査期間：令和8年2月16日(月)～令和8年3月22日(日)

(3) 回収状況

回 収 数：168件 うち郵送回答 114件 (67.9%)、電子回答 54件 (32.1%)

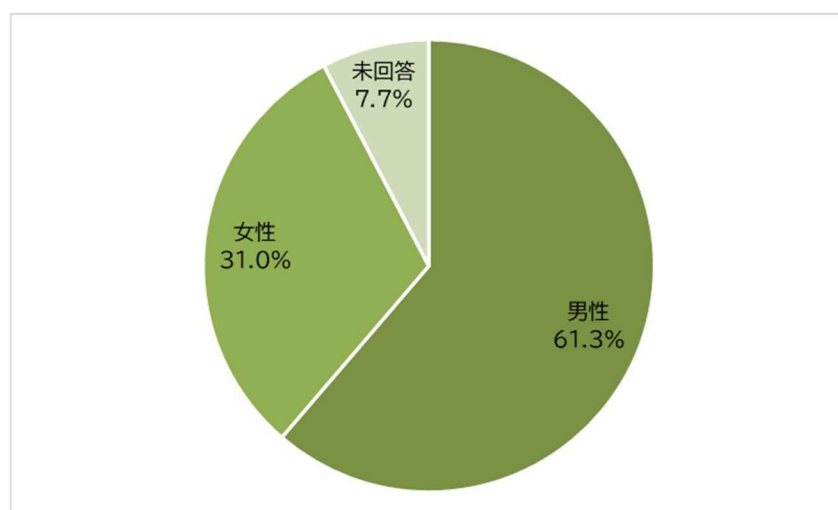
2. 回答者の属性

(1) 所属地域



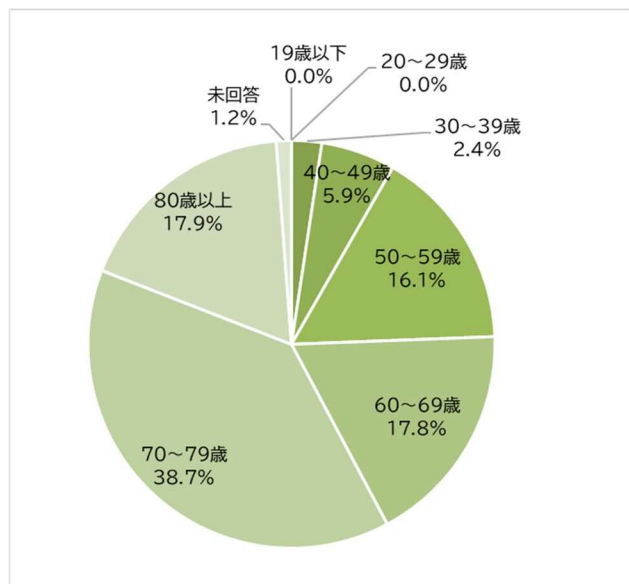
(2) 性別

- ・ 回答者の性別は、「男性」が 61.3%、「女性」が 31.0%と、男性が約 2/3 を占めています。



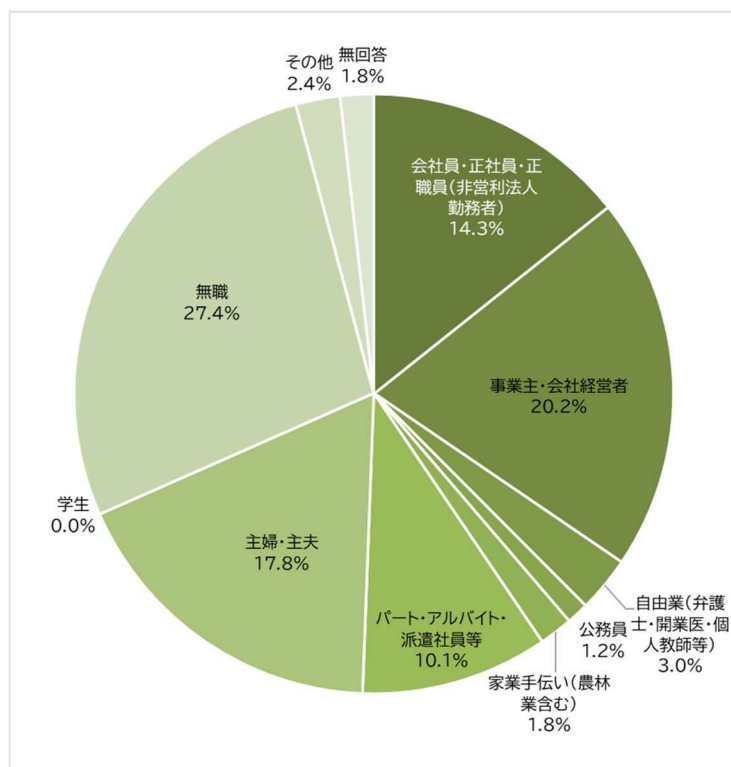
(3) 年齢

- ・ 回答者の年齢は「70～79 歳」が 38.7%と最も多く、次いで「80 歳以上」が 17.9%、「60～69 歳」が 17.8%となっており、60 歳以上の回答者が約 75%を占めています。
- ・ なお、30 歳未満の回答は 0 件となっています。



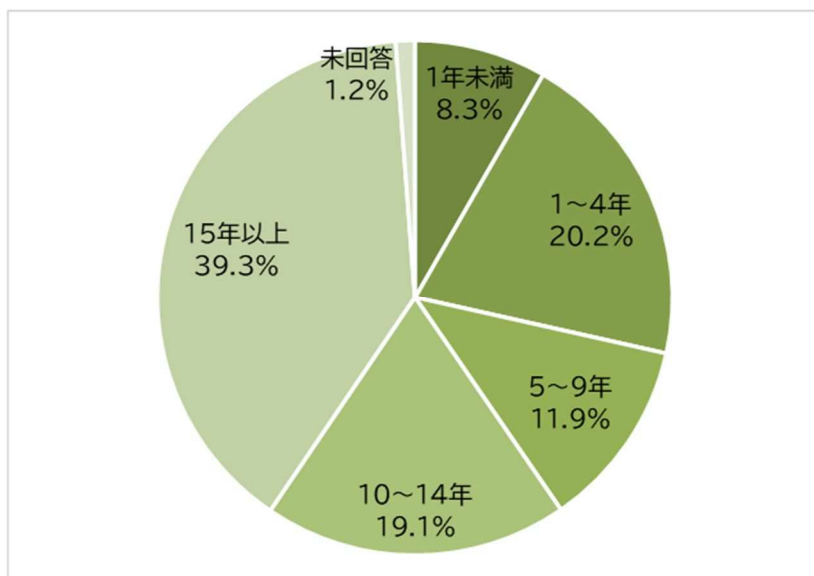
(4) 職業

- ・ 回答者の職業は、「無職」が 27.4%と最も多く、次いで「事業主・会社経営者」が 20.2%、「主婦・主夫」が 17.8%となっています。市民を対象とした市民意識調査では、「事業主・会社経営者」は 5.0%であり、大きく異なる結果となっています。



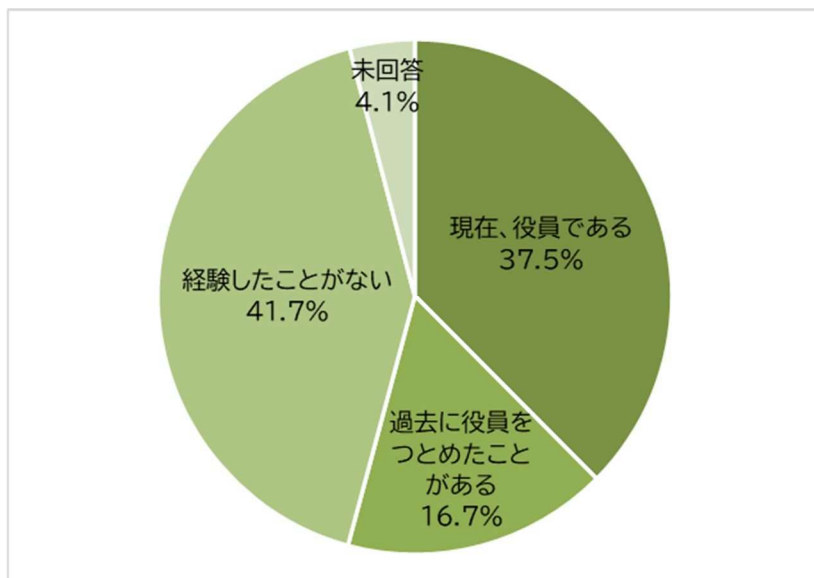
(5) 協議会への加入年数

- ・ 加入年数が「15 年以上」と回答した者が 39.3%と最多であり、10 年以上加入している方が過半数を占めています。



(6) 役員経験の有無

- ・ 回答者のうち、現役を含め役員経験者が 54.2%と過半数を占めています。

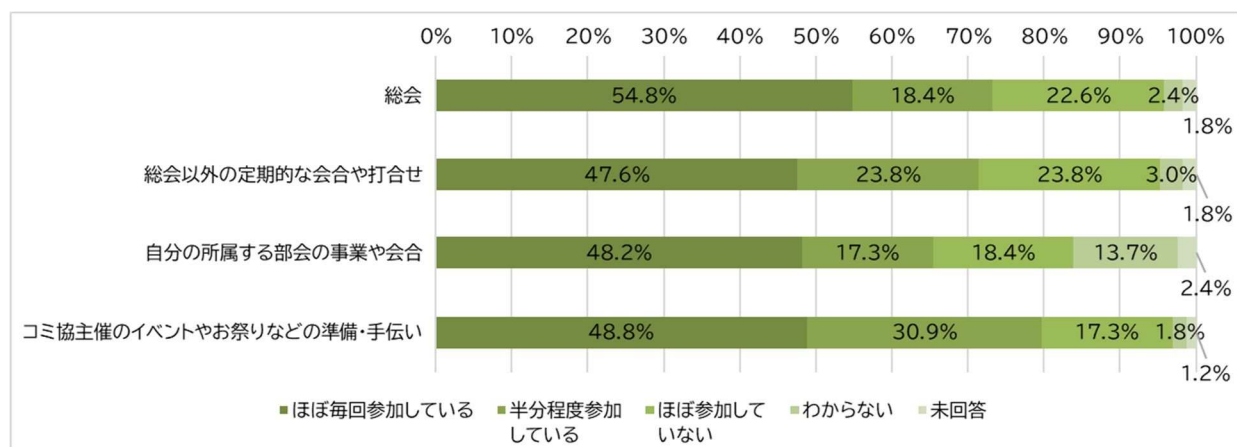


(7) 協議会活動の活動頻度

- ・ いずれの活動においても、約半数がほぼ毎回参加していると回答しています。

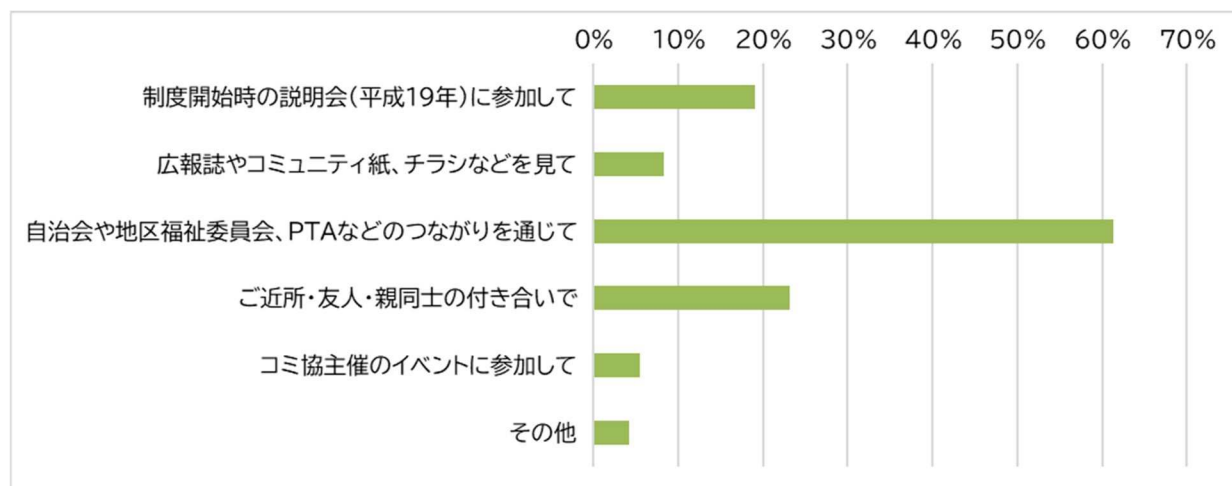
	ほぼ毎回参加している		半分程度参加している		ほぼ参加していない		わからない		未回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
総会	92	54.8%	31	18.4%	38	22.6%	4	2.4%	3	1.8%
総会以外の定期的な会合や打合せ	80	47.6%	40	23.8%	40	23.8%	5	3.0%	3	1.8%
自分の所属する部会の事業や会合(※)	81	48.2%	29	17.3%	31	18.4%	23	13.7%	4	2.4%
コミ協主催のイベントやお祭りなどの準備・手伝い	82	48.8%	52	30.9%	29	17.3%	3	1.8%	2	1.2%

※部会がない場合は「わからない」にて回答



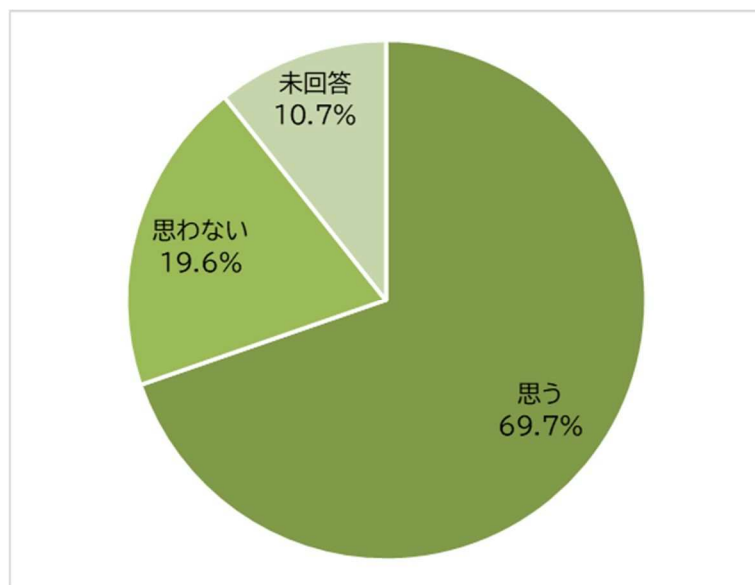
(8) 加入のきっかけ

- ・ 「自治会や地区福祉委員会、PTA などのつながりを通じて」と回答した方が 61.3%と最も多く、既に何らかの地域団体に属していた方が加入する例が多いと考えられます。



(9) 今後の継続意思

- ・ 「(活動が続けたいと) 思う」と回答した方が 69.7%と過半数を占めています。



【活動が続けたいと思う・思わない理由、またやりがいを感じる場面】※自由記述

「(続けたいと) 思う」と回答した意見

【地域貢献・社会貢献】

- ・ できることは協力したいと思う。
- ・ 地域の活動に参加出来るということ自体が嬉しい。
- ・ 校区における市民の皆さまに喜んで頂けるような活動をしていく中にやりがいを感じております。
- ・ もともと地区内での活動がすきである。
- ・ 地域の活性のため協力したい。
- ・ 少しでも人の役に立ちたいので
- ・ 純粋な気持ちで、会員が皆一所懸命なので自分も頑張ろうと思う。会員もイベントに参加してくれる地域の人も素の人間性が見られる。
- ・ 地域で考えて行動（実行）することができるため
- ・ 地域の為に活動したい。
- ・ 地域に貢献したいと思っています。
- ・ 地域住民からの感謝
- ・ 子供が地域の小学校卒でお世話になったお礼の為
- ・ 様々な人の希望を聞いて、それが実現し喜んでもらった時
- ・ 体力・健康の許す限り、地域社会に貢献したい 地域社会に役立つ（成果のあった）活動・施策が実施できたとき
- ・ 自分も楽しめて、地域の人にも喜んでもらえるから
- ・ 社会貢献のため
- ・ 地域活動に貢献したい

- ・子どもが地域の世話になっており、自らも地域のため貢献できればと考えたため。行事参加者が楽しんでいるのを見るときやりがいを感じる。
- ・地域の人たちの喜ぶ顔を見たとき
- ・役員になった。皆からお礼を言われる時
- ・地域の為に活動したいと思うから
- ・活動をしていて、皆さんに楽しんでもらえたり、感謝してくれる人達がいてる半面、ここまで私たちがしないといけないのかなと疑問に思うことがあります
- ・地域のためになる事業を皆で協力し、実行しているとき
- ・地域での地域コミの役割の大きさを感じているので自分にできるお手伝いはさせて頂きたいと思うため
- ・地域活性
 - ・地域の課題を話し合いで整理したり、解決に取り組める結束力が素晴らしい。
- ・今迄 35 年住んでおりましたが子供を当地で育てていないので活動状況が全く分かりませんでした。参加させていただくようになり、皆さんの活動を知ると何かお手伝い出来る事があればと思えるだけ参加させていただくようにしております

【コミュニティの醸成】

- ・地域の方との繋がりを大切にしたい。 できる範囲で無理なくお役に立てればと思っている。
- ・地域、近隣の人間関係が大切だと思うから。
- ・コミ協でのコミュニケーションができる 友達作り
- ・地域住民とのつながり。
- ・青少年指導員から入り、部会のメンバーとの会議やイベントが楽しいから。
- ・地域の人たちとの取り組みが楽しいから。年1回の「きたてしまプラザ」まつりで、腹話術やハーモニカ演奏で出演したり、会の運営に協力できているから
- ・多くの地域の人と知り合いになれるから
- ・地域の活性化が図れる 地域の人たちとの交流が図れる
- ・地域とつながりを持ちたいから。地域の役に立ちたい。
- ・地域の皆さんと一緒に楽しいから
- ・人とのつながり イベントにたくさんの人が集まると楽しい
- ・地域とのつながりを、持ち続けたいため。自分が生まれ育った地域ではないため、子どものため、地域の関係者の方とつながりを持ちたいため。 家族、会社とは違う関係性をつなげることで、それぞれとは違った活動ができることが楽しみです。 いろんな年齢の方と、関われることで、いろんな知見を深められるのが楽しいです。
- ・地域の活性化のため 沢山の参加者がある時
- ・地域とのつながりを大切に思うから
- ・自分が居住している地域の方々と連携を持ちたいので。男女年齢問わず同じ議題で検討すると色々な意見が聞けたりするから。
- ・地域のイベントには関わっていききたいから。参加者からお礼を言われる時。

- ・ イベントを通して地域のつながり、笑顔がみられるから
- ・ 地域の人とのつながりを通してより良くなるよう しかし、時間的に忙しく合わせられない。
- ・ 地域のつながりが出来た 又、安全な地域になって来たように思う 道路 街灯
- ・ ほそごう学園の児童生徒との行事を通じて、楽しくとてもやりがいを感じている。
- ・ 地域コミュニティ発足時より参加をし、今は会長をやらせてもらっています。学校の子ども達と関わりを持つ事にやりがいを感じる。
- ・ 人の付き合い
- ・ 地域の方々との会話等のつながり、コミュニティが活発と感じたときによかったと思う 例) ゴミ清掃活動、夏の盆踊り会、秋の運動会、その他コミセンのさまざまな活動に参加してみて・・・
- ・ 地域コミュニティの役割を体験・実感しているから

【自己啓発】

- ・ コミ協の役員様達の努力姿勢を見て、自分自身にも為になる点です。
- ・ もっと良くなっていく為にみんなで意見を出しあって手分けして行動するところ。しかし、まだまだ 自分の力も発揮できていないし、みんなが良いと思う地域になっていないから
- ・ 地域で活躍する魅力のある方々と知り合いになれて一緒に活動することで人として成長できるから。また、自分の地域に愛着が増していくのは望ましいことと思うから。
- ・ 参加する事で学びもあり人間関係もあり、誰のためでなく参加できている事への楽しさが嬉しい

【まちづくりに対する意識】

- ・ 行政任せでなく、地域のことは地域が自主的に考え行動する必要があると思うから
- ・ 地域を住民参加の盛んな楽しく魅力あふれるところにしたいから。
- ・ 30 代の若い子育て世代が地域に関心を持ち、参加しやすく、盛り上がる構図を作っていきたいから。
- ・ 住みやすい街 地域に少しでもしていきたい。提案事業を実施執行した際、地域の方々に喜んでいただき時。「ありがとう」「ご苦労様です」と声かけていただいた時。
- ・ 今は仕事との兼ね合いで参加できていない部分もあるが、地域の活性化につながると思うので
- ・ コミュニティ推進協議会は地域の他の団体と一丸となって地域行事を行っており、この行事をぜひ維持したいと考えています。コミュニティ推進協議会の他の活動も、地域がよくなればと希望しています。
- ・ 住まいする所の活動は、全て、自分達で取り決めて出来る（他の市では、自分達で決める事が出来ない！地域分権制度が無い！行政が決めてる為）
- ・ 地域の為になる事業が予算をいただけることで可能になる。地域の主たる住民との顔合わせが、この会員に席を置くことで、つながりが持てる。この年になれば、家に引きこもりでいることが多いと思う。私の健康のためと脳の活性化のため必要である。
- ・ 地域の方々に安全で過ごしやすい様につとめていきたいですが手続き（書類）の
- ・ 必要だと思うから 地域がすみやすい町にするため。
- ・ コミ協は地域団体をつないで地域全体としてまちづくり活動ができる。そのような団体はコミ協

しかない。

- ・地域連携を感じることができるので
- ・自分の住む地域を住み良い場所にしたいから
- ・予算がついてお金がかかることもある程度はできるので、実施で地域のつながりや、町が使いやすくなっていくことがいいと思う
- ・今の子供たちのために、住みやすい地域にしたい
- ・自分達の問題と考えているから。また、市職員と討議して行政側の考え方も知りたい。
- ・地元のことは地元の手でという趣旨に賛同しているから。その趣旨に賛同し、新しい会員が増えたときにやりがいを感じる。
- ・コミュニティのために色々と活動できるので、自分が住んでいるところを良くしたいという思いがあるから。イベント等に参加した人たちが楽しそうだと、やりがいを感じる。

【その他】

- ・止めるのは簡単だけど継続は力だと思うから
- ・参加したいのですが足が不自由で参加しづらい
- ・市が予算の関係で応じないとき役に立つ
- ・コミ協活動が地域にとって、必要不可欠と考えるからです。
- ・地域の意見を言える立場としてやりがいはある。多忙なため参加ができないことが多いが時間が許せば参加したい
- ・市の財政が何に使われるのか興味があって参加しました。
- ・防災に関して消極的な地域ですので、これから活性化させていきたい。
- ・会議等の日程が平日で仕事上参加できない
- ・地域の人達からの意見・要望を取り上げる事が必要
- ・池田市にとって、又市民活動にとって大事な役割を担っていると思うので
- ・地域の活動がどのように進んでるのか把握しておくため
- ・若い世代の加入が進まないからやむなく活動している。
- ・イベントなどには参加したいと思いますが今はあまり時間がとれないので

「(続けたいと) 思わない」と回答した意見

【協議会の負担】

- ・無給ボランティアである、まわりから理解してもらうのが大変。住民は完全にお客さん状態。イベントをやってくれるのはありがたいが自分もやろうとは思ってくれない
- ・事業提案、事業報告、予算申請などの事務処理の負担感が年々増してきた。地域の方々から協力もらえることにやりがいを感じます。

【地域コミュニティ推進協議会への不満】

- ・コミ協主催のイベントやお祭りの運営方法（手伝い、準備、参加グループ）に納得がいけない。
- ・部会の打ち合わせ等がまったく無い

- ・部会の活動が不活発。部会長が単独で企画している。
- ・高齢の方が大半で、総会上での言い合いがあったりまた部会長が部員の意見を聞かず一方的に進めており、新しく入ってもやりがいを感じにくい。正直運営の仕方を変えないと破綻する危険性を感じる。
- ・事業がマンネリ化しているため、関わる魅力がなくなった
- ・①組織の形骸化 ②事業に関する深い議論がなされず前例主義になっている ③役員及びメンバーに負担感が存在しているように思える
- ・予算のムダ使い。一部の事業を除いて提案事業のマンネリ化。一部の人の自己満足
- ・マンネリ化。高齢化。閉塞化。一部の人で動いている。若い人の無関心。
- ・会長が個人主義で行っているから×
- ・当初財源緊縮の為に市議会議員を削減し、その代わりとして地区の状況を考えるためのものとして聞いていたが、現状は一部の大きな声を出す人の私物化になっているように感じる（他地域のコミュニティに参加した事もあります。その上の意見です）。

【一身上の都合】

- ・年齢的なため
- ・老齢・体調
- ・他の地域役員をやっている為、仕事で、時間が取れない
- ・介護等で忙しい
- ・時間がない
- ・年齢
- ・高齢のため困難
- ・少し長くやり過ぎた。今まで自分がやらないと思って踏ん張っていたつもりが、完璧に空回りしていることに気づかされた。そろそろ潮時と思われる。
- ・高齢・病弱の為
- ・年齢的に 高齢なので
- ・年齢的にしんどい
- ・やる気がない。

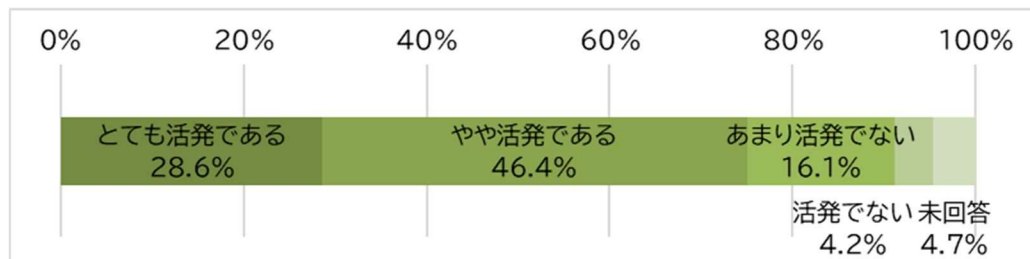
【その他】

- ・町会との繋がり、情報の伝達で参加している。
- ・時代の流れに即した行動が必要
- ・他市と比較して（箕面市・豊中市・川西市・西宮市）自治会活動を阻害している面が見られる

3. 調査結果

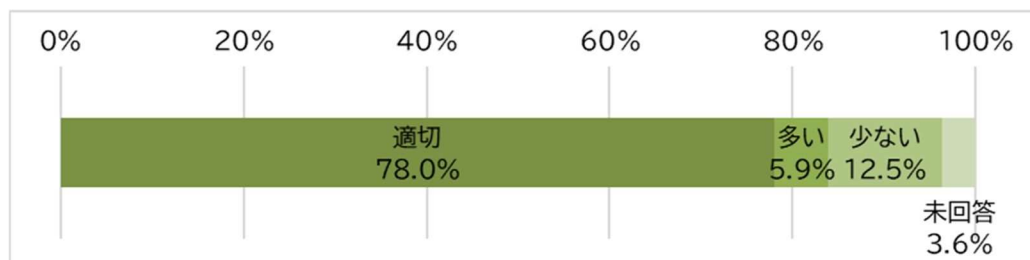
問1 あなたが所属するコミ協では、事業提案等について、活発に議論が行われていると感じますか。

- ・ 「とても活発である」「やや活発である」と回答した割合が 75.0%と、約 3/4 を占めています。



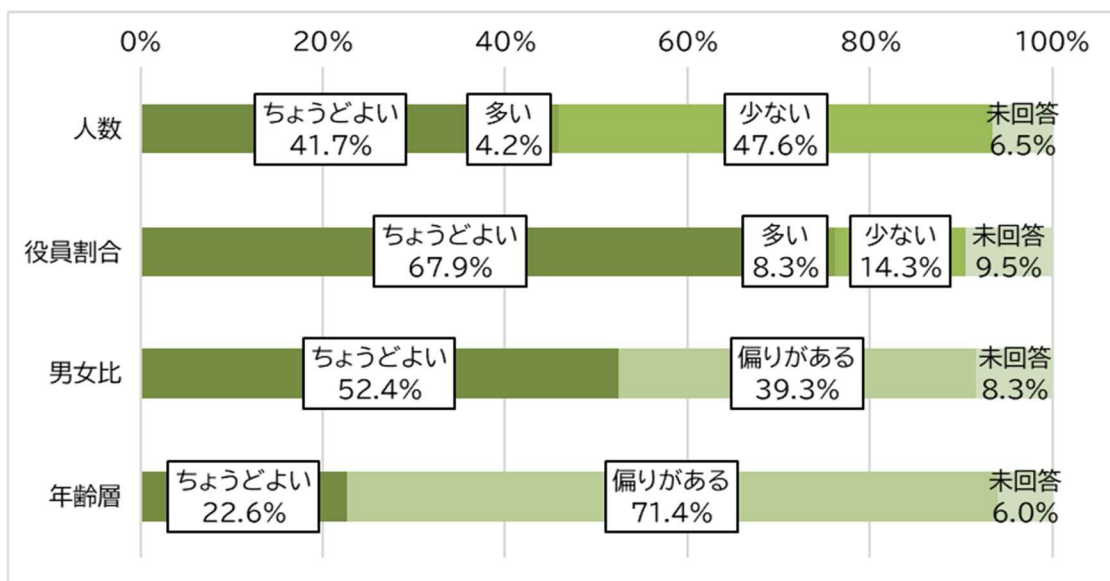
問2 会合の開催頻度などは適切だと感じますか。

- ・ 「適切」との回答が 78.0%と最も多く、次いで「少ない」が 12.5%となっています。



問3 あなたが所属するコミ協(地域コミュニティ推進協議会)の構成について、それぞれどのように感じますか。偏りがある場合、どのようになればよいと思いますか。

- ・ 会員数については、「少ない」と回答した割合が 47.6%と最も多く、次いで「ちょうどよい」が 41.7%となっています。
- ・ 役員割合については、67.9%が「ちょうどよい」と回答しています。
- ・ 男女比については「ちょうどよい」が 52.4%、「偏りがある」が 39.3%となっていますが、男性で「偏りがある」と回答した割合は 36.8%、女性は 40.3%と、性別による差はほぼ生じていません。
- ・ 年齢層については 71.4%が「偏りがある」と回答しており、その多くが若年層や現役世代の参加促進を求める意見です。

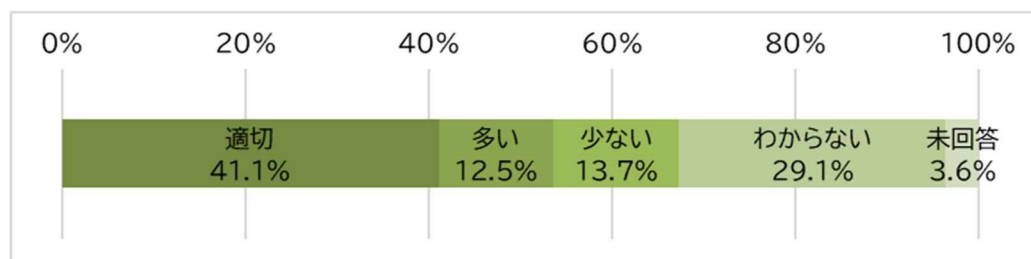


「偏りがある」と回答した場合の望ましい方向性（自由記述） ※重複あり

若年層や現役世代の参加促進を求める意見	74 件 / 95 件 (77.9%)
女性の参加促進を求める意見	12 件 / 95 件 (12.6%)
世代間のバランス改善を求める意見	10 件 / 95 件 (10.5%)
広報・PR 活動の強化を求める意見	4 件 / 95 件 (4.2%)
その他	8 件 / 95 件 (8.4%)

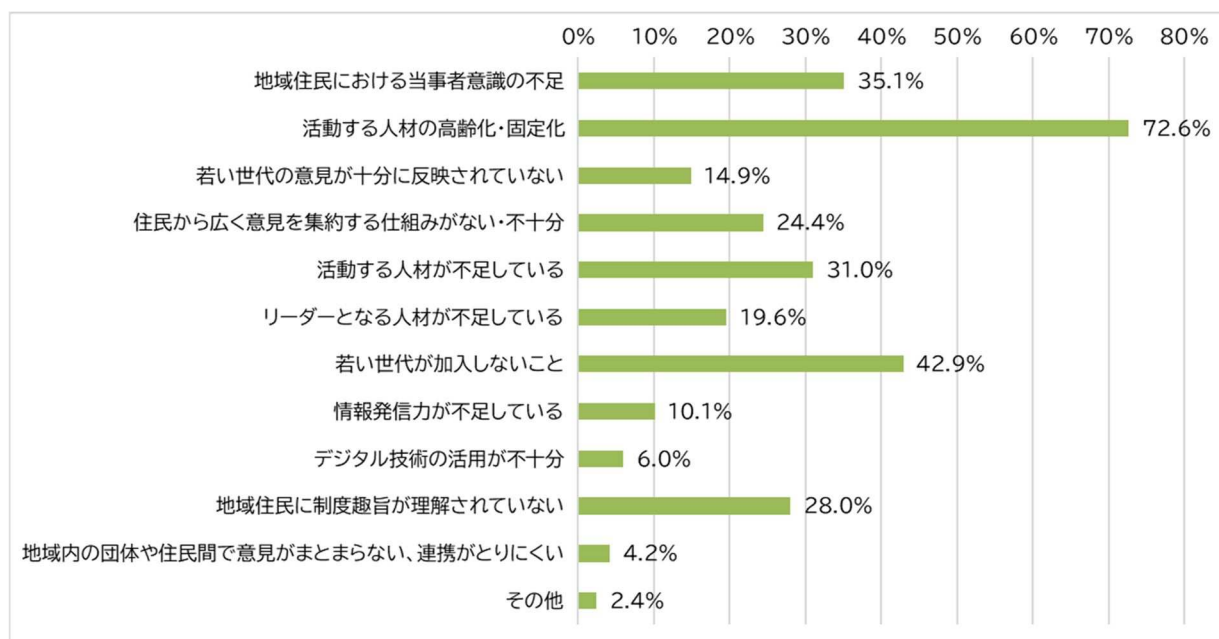
問4 コミ協から提案される事業は、市が実施する事業(防犯カメラや掲示板の設置など)、補助金の交付を受けてコミ協が実施する事業(イベントの実施やコミュニティ紙の発行)に分かれています。
あなたが所属するコミ協の補助金で実施する事業の数について、あなたはどのように感じますか。

- 補助事業の割合について、「適切」と回答した割合が41.1%と最も多く、「多い」「少ない」と回答した割合はおおむね同率となっています。



問5 コミ協が今後も継続して事業を続けていくにあたって、あなたが課題と感じているものに3つまで○を付けてください。

- 回答者のうち、「活動する人材の高齢化・固定化」と回答した割合が72.6%と、他の選択肢に比べて喫緊の課題と認識されていることが窺えます。次いで、「若い世代が加入しないこと」が42.9%、「地域住民における当事者意識の不足」が35.1%と続いています。
- 「地域内の団体や住民間で意見がまとまらない、連携がとりにくい」と感じている割合は4.2%と最も低く、地域内における連携のとりにづらさについては、あまり課題と認識されていないものと考えられます。



問6 前問で選択した課題を解決するためには、どのような対応を行うべきと考えますか。
ご意見があればご記入ください。

若年層の参加促進	13 件
周知・広報活動の強化	22 件
地域コミュニティ推進協議会の組織改革	12 件
地域分権制度・行政への要望	12 件
地域内団体との連携強化	11 件
その他	5 件

【若年層の参加促進】13 件

- ・ 子どもの育成や子育て支援など、若い世代にとって関心のある事業を行うことが有効と考える。若い世代が入会し、幅広い年齢層で構成されることが組織として望ましい。
- ・ 役員の世代交代 ・得意分野での活躍できる人をコミュニティに取り入れていくのが良いと思う
PTA の役員等の後で、コミュニティに入ってもらい仕組みを取り入れて行ったらよいと思う
- ・ 地元の各種イベントの時に、PTA 等若い女性たちが多く出席するが、その時に地元の現女性役員が、偉そうにするのではなく、若い女性に好感を持ってもらうような接し方を常にし、つながりを持ち、コミに参加してもらうように誘導する。男性は若い奥様の勧めで、一度参加してみようという意識を持ってもらいコミにも参加してもらう。私の場合は自費でお茶やランチに誘って関係を強化しています。
- ・ どうしても、高齢化が、進んでいるので、矢張り若い人達が関わって欲しいと思う。
- ・ 世代交代がうまく行きにくい もっともっと若い方が多く出て自分の町を作ってほしい ・フェスタなど若い人が参加しやすいイベントに呼び込む。
- ・ 若い人だけのチームを作る。年寄は参加しない。
- ・ 別組織として青年部（40 歳以下）を設立してまちづくりの提案をしてもらう
- ・ 若い人の加入・活動をうながす努力が必要であるが、楽しい事は参加するが、しんどい、めんどろ事は参加しない ・若い世代の住民が入りたくなくなるようなプログラムを多くする。高齢者が役職を続けないようにする ・ほぼ活動は休日のため若い人材は集まりにくいと思う
- ・ 若い世代の認識不足
- ・ 若い世代による団体等に参加を呼びかける
- ・ 若い世代の意見を聞く
- ・ やる気のある若年層の加入促進
- ・ 小中高で活動に参加してもらうシステムを考える 授業カリキュラムに含める（道徳・保健・体育の授業）

【周知・広報活動の強化】22 件

- ・ 市がもっと積極的にコミ協の情報を発信して若い世代の参加を促して欲しい
- ・ コミ協としては精一杯 PR 活動を行なっているが、市として日本で初めての分権制度（コミ協活動）

PRをお願いしたい。有償ボランティアの考え方の再考。

- ・ まず行政がこの制度を市民に周知徹底させる必要がある。
- ・ 費用対効果の低い事業があり、なかなか地域にコミ協の存在が浸透しない。事業に対して認知度が上がれば、参加する会員も増えるのではないか。
- ・ 地域コミュニティの存在をもっと沢山の市民に周知する必要がある。
- ・ デジタル媒体による情報発信、例えば SNS やホームページや LINE などにより、若年齢層への訴求を図ることが大事だと考えております。
- ・ 役所がもっと説明、動くこと。
- ・ 存在自体を知らしめることをすすめる
- ・ 行政がコミュニティ推進協議会自体の認知を広める必要がある。正しく認識してもらい、会の加入を増やす。それと同時に各会で進め方をもう少し公平性をもてる進め方、仕組みづくりをする必要がある。
- ・ 住民の人はコミ協じたいがわかってない為、コミ協がどのようなものかをもっと発信しないとつたわらないと思う
- ・ 市民への PR を、市に何を要望したいかを、各コミ協にアンケートをとったらどうですか？
- ・ 広報誌で年 1 回でなくもっと取り上げてはどうか 例えば 3 か月に 1 回 挟み込みのミニサッシを配布するのもあり
- ・ 各種団体の個々団体参加人数が少ないので直接住民へのアピールを増やすしかない 定年後の人をもっと生かせれば良い
- ・ イベント等で入会案内
- ・ 「自分達の地域の事を（市の予算で）自分達でよりよくする事ができる」事をもっとよく知って貰う 対策 啓蒙活動
- ・ PR 活動をもっと！！
- ・ 地域住民に根気良く説明し続けるしかない。
- ・ コミュ協は地域住民と共にある身近な存在であること、誰でも加入して活動できることをこまめに伝えていく。コミュ協主催のイベントのチラシに書いてもいいと思う。イベントの役員あいさつで伝えてもいい。
- ・ 活動内容を地域に知ってもらい、いろいろな事情で今は無理でも余裕ができたなら参加できるという候補者を声かけなどで増やしていく。
- ・ 住民との会合を持つ事（会合を告知する）などして、参加者を募る
- ・ コミ協が情報を発信していても、受け取る側にもあまり理解されないままに廃棄されているのでは？
- ・ 会員になると楽しいし、沢山の事を知ることが出来ますが、「コミ協」の存在を知らない方々が多いと感じます。広く宣伝して頂きたい。

【地域コミュニティ推進協議会の組織改革】12 件

- ・ 新陳代謝が喫緊に必要。抜本的な改革が必要。
- ・ 役員や部会の所属を定期的に入れ替え、風通しをよくする

- ・ 組織の構造づくり、事業提案の仕方の仕組みづくり、
- ・ 幅広い年代の意見や要望を聞き、新しい取り組みを始める
- ・ 地域住民に便利、利益のある事業が行き渡り、それ以外の事業で固定化されてるように感じる
- ・ 活動する人たちが日常的に親睦を図ることのできる場がない
- ・ NPO を利用して、独自の事業と補助事業の両立を共存し、地域の独自色を出していく。
- ・ リーダーの養成・コミ協への助成
- ・ コミュニティの役員を各団体から選出し、組織の拡大を希望する。
- ・ 地域の課題を見つけることも、それを人にまかせる事が出来ず人材の開発が無である。
- ・ 動く人がいない。
- ・ イベントを行う場合、その主旨をはっきりさせるべきと考えます。 義務として参加するのではなく「楽しい」と思える何かが必要

【地域分権制度・行政への要望】12 件

- ・ 予算の関係があるが別枠で3月以内に実行すべき
- ・ 現状の人選体制では解決出来ない。役所の積極的関与が必要。出来ないなら存続不要。
- ・ 準公務員扱いも必要かと思えます。ボランティアを超えていると思えます。シルバー人材も有料で有る点
- ・ 設立当初の主旨が年月を経て風化・劣化している。再度主旨説明を行政が行うべき。 推進委員（仮称）制度を新設し、一部手当を支給してみても
- ・ 市が主導して地域の団体すべてにコミュニティに参画すべきという方針をとってほしい。土日も市役所は対応すべき
- ・ 行政がもっと入って、あり方について議論が必要
- ・ 前述しましたが、今一度全てを解体し本当に必要な組織か考える必要あり。本来ならば市議員や市役所がやるべき仕事をボランティアでと投げているように思う。 制度は推進すべき、ただ、本当に地域分権を意識できる人にまかせるべきだが、そのような人材は地域コミュニティのようなボランティア組織には入ってこない
- ・ コミュ協が立案した事業計画の諾否決定過程が不透明である。
- ・ コミ協として提案できる事業の制約の緩和（公金故にできないことが多い、仕方がないといえば仕方がないが）
- ・ 予算や計画に於いて、もう少し地域の裁量を認めても良いのではないかなと思う。
- ・ 仕事をしている若い方でも参加できる様 書類作成等をもう少しペーパーレスにしてほしい 地区によっては補助金の使い方が本当に住民のためになっているのかよくわからない
- ・ ある程度は仕方ないと思うが、これらの理由で行政が制度について存続の有無を検討するのではないかな？という懸念が1 番な敵だと思う。行政が必要と位置付けするなら、行政としてのブレない指針表示してもらえらるなら、地域としても課題について自信を持って対応していけると思う

【地域内団体との連携強化】11 件

- ・ 従来から有る、実行組合、自治会、隣組、民生等の各会議のまとめ役が、必要だと思えます、各団体

が、バラバラに同じ事を取り込んでいると思う、役員の我田引水が、目に余る

- ・ 住民当事者の意識向上は難しいが、自治会及び各種地域団体を主体とする人員構成にしないと広く意見を集約できないと考える
- ・ PTA との連携
- ・ 各自治会の取り組みの紹介（情報交換）が少なすぎる。各自治会を年々退会する人が増えていくのがとても残念。地域のイベント的な取り組みの参加者はとても多く活発だが自らが地域の活動提案となるととても弱い。役員になる人が少ないのが現状。専門家の意見やうまくいっている地域の方の話を聞くのも1つの案かも？
- ・ 自治会活動・他団体との連携
- ・ コミュニティ紙の発行など行っているが、地域住民の参加が少ないので自治会等と連携して行こうと思っています。
- ・ 町会や自治区体のあり方・構成と同様、当事者意識を つながりの必要性をどうクリアしていくか広域町会として移行していくか？悩ましい
- ・ 以前は各団体と連携が今より取れていたのかも知れませんが、高齢化と固定化でとれていないので、各団体や地域内で連携が継続して取り続けられる仕組みを作るべきだと思います。
- ・ 地域の団体が協働してよりよい町にするように顔を合わせる必要があると思います
- ・ 地域住民の意見・要望を吸い上げる仕組みを構築する（アンケート・集会など）
- ・ 自治会も活動をしる人の多く、役が当たるので済ませるだけが現実で、みんなで動こうとする人が少ない。のに、コミ協に入ると言うことは自分の地区で何を言われるかという心のせまさが

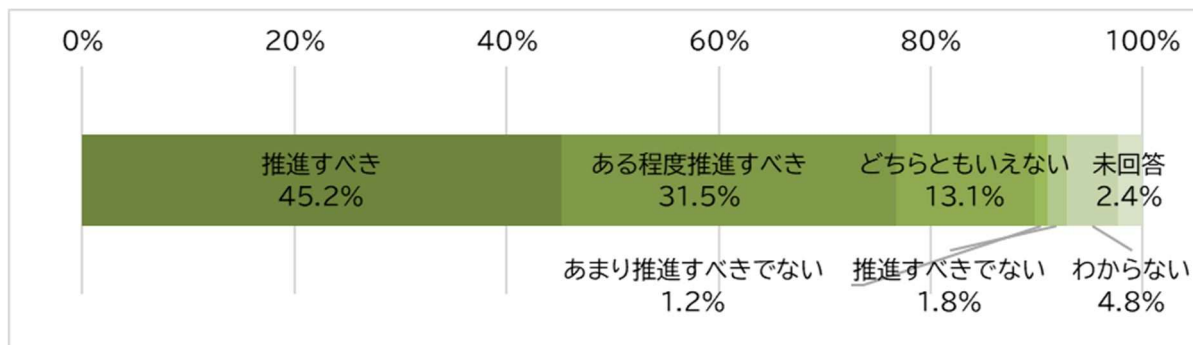
【その他】5件

- ・ 強制的な集まりではないので、仕方がないことだと思う。それこそ、その問題を解決するために、強要することの方が問題かと思う。
- ・ もっと周りを見て、地域の為に活動する必要がある
- ・ 池田市職員の地区コミュニティの活動が分かっておられるのか、地区に寄り添う意識が低いと感じる。
- ・ 池田市職員、大阪府職員がそもそもコミ協のことを知らないまたは無関心な場合が意外と多い
- ・ 市議員の方は何の仕事をしているか…？地域の行事に参加（一緒に準備・手伝った）したらよく分かりますよ。学校の先生方は一緒に手伝って提供をしてくださっています。地域の皆様もすきま時間 休みを使って見守り行事をして下さっています…市議員さんはあいさつだけ？！ですか？

問 7 地域分権制度について、あなたはどのように思いますか。

また、「あまり推進すべきでない」「推進すべきでない」を選んだ場合、その理由をお聞かせください。

- ・ 地域分権制度について、「推進すべき」「ある程度推進すべき」と回答した割合は 76.7%、「あまり推進すべきでない」「推進すべきでない」と回答した割合は 3.0%であり、様々な課題を感じつつも、すぐに廃止すべきという考えを持つ割合は少ないことが窺えます。



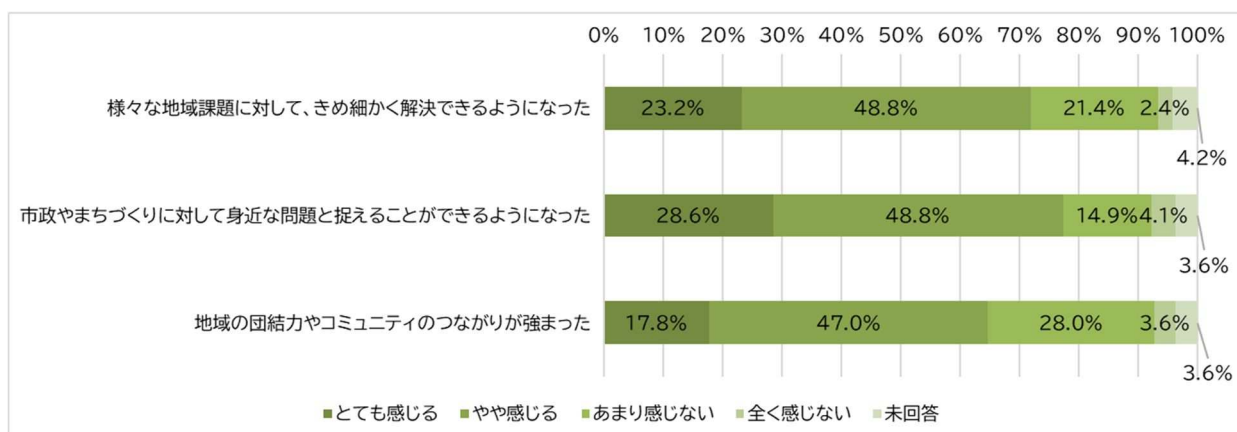
【「あまり推進すべきでない」「推進すべきでない」と考える理由】 ※自由記述

- ・ 分権に関して必要な事業のみでいいと思う。
- ・ 税金のムダ使い。
- ・ 一部の人の自己満足、マンネリ化
- ・ 中途半端な分権は効果が無い。
- ・ 個人の負担が大きい。

問 8 地域分権制度がもたらしている効果について、実感するものを選択してください。

- ・ いずれの項目においても、「とても感じる」「やや感じる」と回答した割合が 64.8%～77.4%と、効果を感じている会員が過半数を占めています。
- ・ 一方で、「地域の団結力やコミュニティのつながりが強まった」という地域の連帯に関する項目については、「あまり感じない」が「とても感じる」を 10 ポイント以上上回っています。

	とても感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない	未回答
様々な地域課題に対して、きめ細かく解決できるようになった	23.2%	48.8%	21.4%	2.4%	4.2%
市政やまちづくりに対して身近な問題と捉えることができるようになった	28.6%	48.8%	14.9%	4.1%	3.6%
地域の団結力やコミュニティのつながりが強まった	17.8%	47.0%	28.0%	3.6%	3.6%

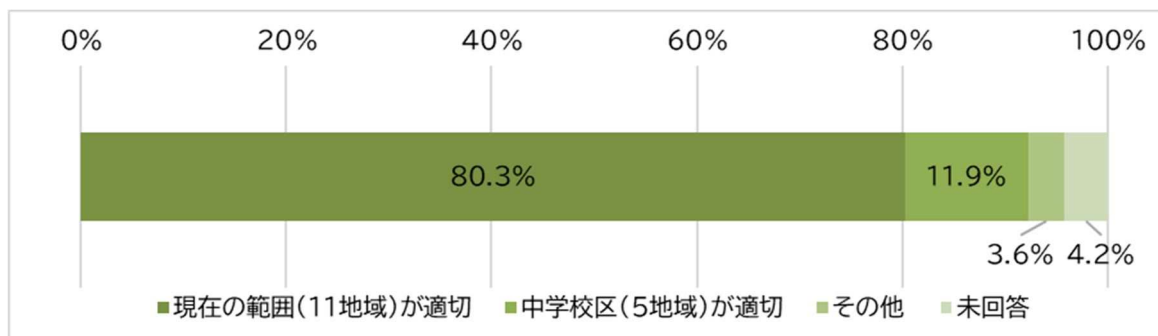


【その他】 ※自由記述

- ・ 自分達のまちを自分達でつくる。まちづくりを行政任せにせず、市民参加を啓発することができる。
- ・ 地域での新しい人付き合いや地域活性を考えている人達に出会える
- ・ 地元の「村」のイベントに参加者の間口が増えて、大変重宝しています。
- ・ 地域の特色？カラー？を活かし活性化できる
- ・ 地域の特性を生かす活動ができています。
- ・ 学校・PTA との関係が身近になった
- ・ 学校との連携
- ・ 提案してやってもらえる事。
- ・ 校区単位で区切ることの理由が分からない。行政がやりやすいからと勘繰ってしまう。
- ・ ファミリー層に対して認知度が低すぎるので、対策を考えなくてはならない。
- ・ 会員になるまでコミュニティ協議会の働きをよく知らなかった
- ・ 個々の事業のフォローが出来ていない。
- ・ 取って付けた感じがする
- ・ 市議会議員がもう少し動けばいい
- ・ 地域を担う次世代層・若手の育成
- ・ 存在を知らない方が多い

問 9 コミ協の範囲について、現在は小学校及び義務教育学校(前期課程)の校区ごとになっていますが、今後はどのような範囲が適切だと考えますか。

- ・ 「現在の地域(11 地域)が適切」と回答した割合が 80.3%と最も多くなっています。
- ・ 「中学校区(5 地域)が適切」と、範囲を広げるべきとする意見が 11.9%である一方で、同じ地域の中でも成り立ちや特性が分かれる地区がある場合、考え方に相違があり、意見の集約に苦慮するケースもあります。

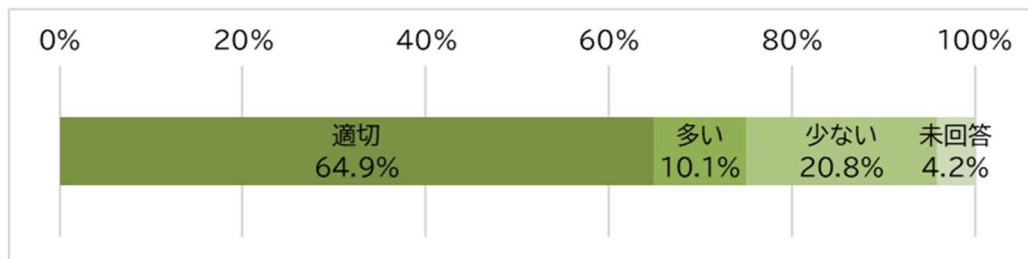


【その他】※自由記述

- ・ 自治会単位で課題を集約して、自治会長が市に集って討議する。
- ・ コミ協は範囲が広すぎるので地域の意見が反映されない
- ・ ①(現在の範囲)と②(中学校区)の併用
- ・ 具体的にはわからないが、新興住宅地と旧村では自ずと考え方に相違がある。
- ・ 教育については校区をなくす

問10 コミ協が提案できる予算額(事業提案限度額)について、あなたはどのように感じますか。

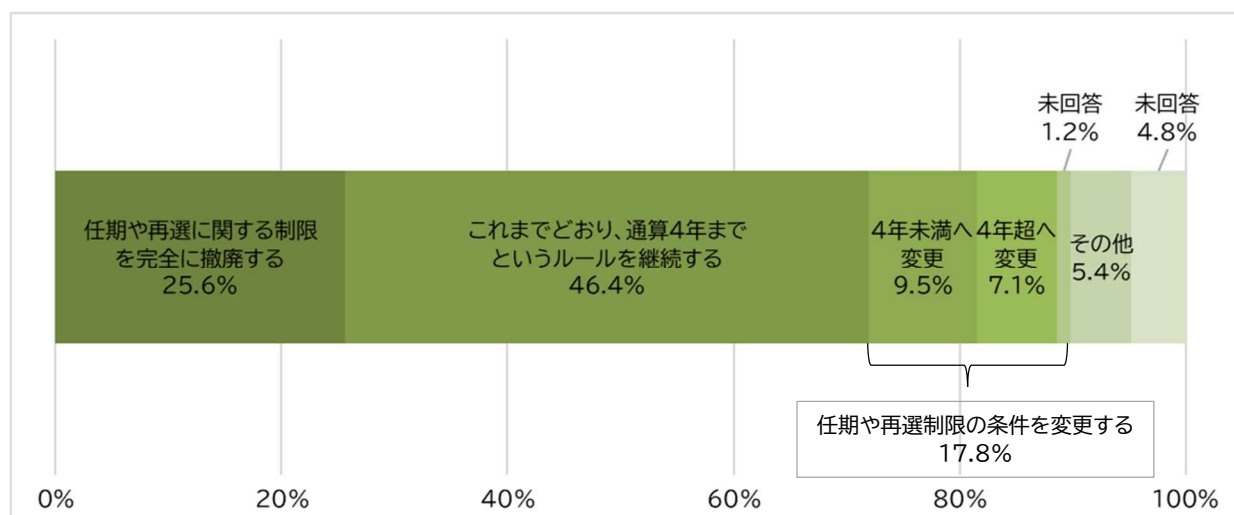
- ・ 事業提案限度額(現在は個人市民税の 1%)について、「適切」と回答した割合が 64.9%と最も多くなっています。
- ・ 「少ない」と回答した割合は 20.8%と「多い」と回答した割合を 10 ポイント以上上回っています。



問11 制度開始当初、会長職については任期2年、再選1回まで(通算4年まで)としていただくようお願いをしていたところですが、現在、なり手不足が深刻化しています。

会長職の任期や再選制限について、あなたのお考えをお聞かせください。

- ・ 「これまでどおり、通算4年までというルールを継続する」と回答した割合が46.4%と最も多くなっています。
- ・ 制限の撤廃、あるいは任期4年を超える年数への制限変更を選択した者の割合は32.7%となっています。

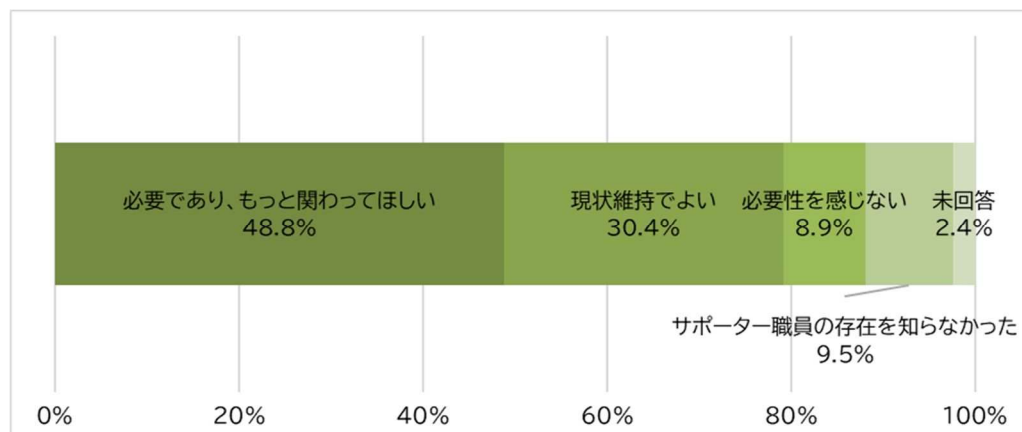


【その他】※自由記述

- ・ 任期1年、再選制限なし、通算制限なし。毎年総会で承認を得ること
- ・ 現在の制限で原則制度を設け再選制限を緩和する
- ・ 会長を複数制(例えば男女1名ずつ)にして負担を軽減する。複数の副会長を置いて、経験を積んでもらい、引き継いでもらう。任期は各2年。
- ・ 各自治会で持ち回りとすることも内規として入れることもありではないか
- ・ 地域柄があるので、地域ごとに任期を決めたらいいと思うが、長すぎるのはダメと思う
- ・ なり手不足ではなく、後継者的人材を選び過ぎていると感じている
- ・ 本当に必要な組織ならなり手はいるはず。必要のない組織なのでなり手がいないだけ。

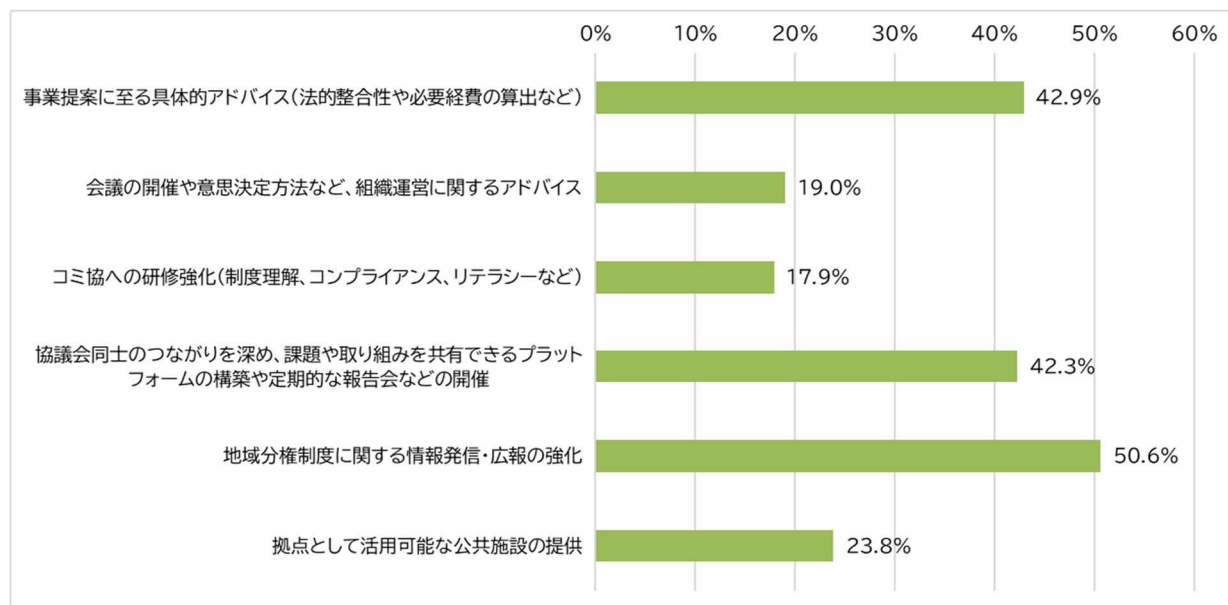
問12 各地域には 2～4名、地域担当のサポーター職員(ボランティアの市職員)が配置されていますが、その必要性についてどう感じますか。

- ・ 「必要であり、もっと関わってほしい」と回答した割合が 48.8%と、「現状維持でよい」の 30.4%を上回っています。



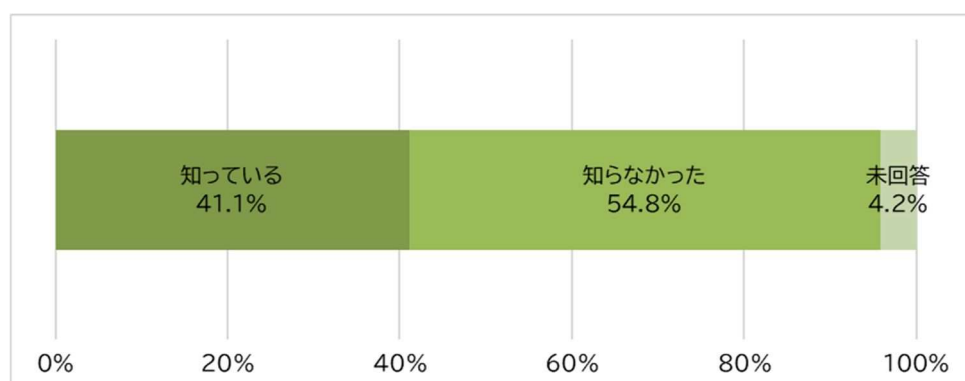
問13 市(事務局)に求めるものを3つまで選んでください。

- ・ 「地域分権制度に関する情報発信・広報の強化」と回答した割合が 50.6%と最多である。
- ・ 「事業提案に至る具体的アドバイス(法的整合性や必要経費の算出など)」「協議会同士のつながりを深め、課題や取り組みを共有できるプラットフォームの構築や定期的な報告会などの開催」がほぼ同率で続く結果となっている。



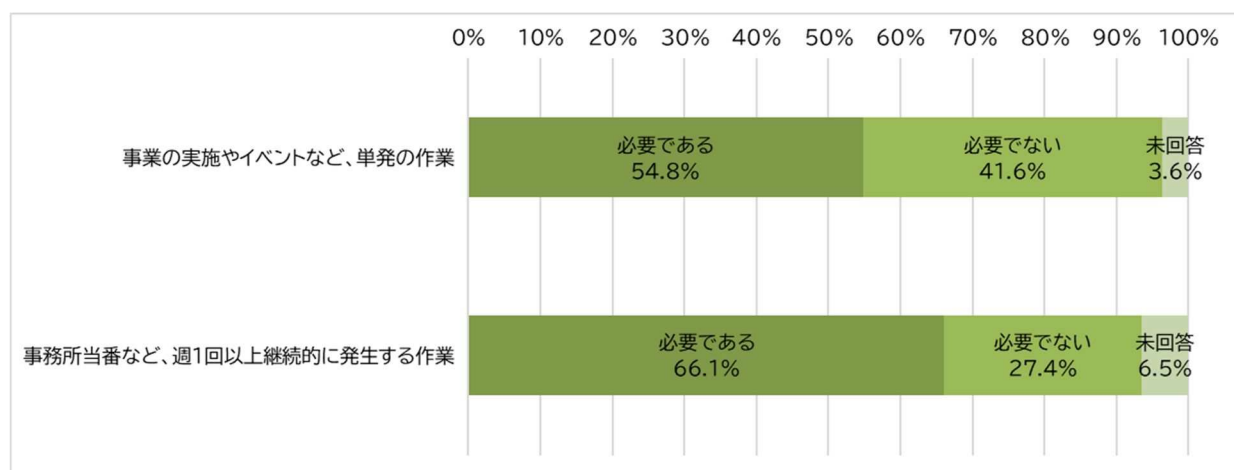
問14 2016 年度に開催された前回の「地域分権検討会議」において、各地域におけるまちづくりの共通ビジョンの重要性について言及がありました。これを受けて、池田市では 2022 年度に全校区で「まちづくりトーク」を開催し、この話し合いなどをもとに『池田市地域ビジョン』を策定しました。
あなたは、この『池田市地域ビジョン』について知っていましたか。

- ・ 「知らなかった」が「知っている」を上回り、過半数を占めています。



問15 地域分権制度は、「自分たちのまちは自分たちでつくろう」をスローガンに、無償ボランティアを前提として開始した制度ですが、時代の変遷とともに、謝礼金等の活用なしには維持できない場面も生まれてきています。
コミ協メンバーへの謝礼金や賃金の支払について、あなたはどう考えますか。

- ・ いずれについても「必要である」が「必要でない」を上回る結果になっており、特に事務所当番などの継続的に発生する作業に対しては、「必要である」が 66.1%となっています。



問 16 その他、地域分権制度に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

【協議会負担に関する意見】

- ・ ボランティアでの参加大変だと思います 市役所・職員の積極的参加 よろしく願います
- ・ ボランティアなのでお金が発生するなら市で雇ってやるべき。ボランティアでやってる人が居なくなる。
- ・ ボランティアにも限界を感じます。コミ協も大切ですが、基本になる自治会を力づける必要も感じます。市民1人1人では意見など言えない為、全て苦情のように届くと感じます。苦情を良い意見情報と受け止めてほしいです。池田市行政は素敵です。
- ・ 基本的にボランティアは無償がよいと思う。組織的に無償と有償が混在すると有償を求める人が多くなってってしまう。
- ・ 事務作業に使う時間は有償もしくは、市役所の職員がすべきだと思う。経理の仕方に関しても、フォーマットや記録の仕方等給料をもらっている人が一括でやるべきだと思います。
- ・ 若い人の参加を希望しているが、ほぼパート等、仕事をしている。謝礼金・賃金をあげれば来るのではないかと考える。
- ・ 無償でするには責任が重い仕事がある。かと言って、最低賃金以上を支払うのでは制度の意義が違ってくる。有償ボランティアは妥協点だと思うが、1日1000円、1時間300円位でいいと私は思う。金額についても、意見は人それぞれで難しい。
- ・ ボランティアに頼りすぎではないか。一部有償にしても良いのでは

【サポーター職員・事務局の役割に関する意見】

- ・ サポーター職員の会議への参加は必須とするべき。またサポーター職員はコミュニティのことを熟知して市との密な連携を図ってほしい。市の中にはボランティアといいながら私が知る限り有償ボランティアが多い。役員手当・イベント手当などあたりまえに発生させるべきと思う。どれだけ自分の時間をとられているか。市の職員はコミュニティにかかわることが「仕事」ですよね。予算についても確かに予算主義であることは必要ですが、まだ行っていない事業に対して予算を考えるなどありえないことに対して臨時予算としてある程度の枠を設けるべきではないでしょうか。
- ・ サポーター職員の助成・地域分権制度のPR・各校区のコミ協が実情に応じて活動している。自分達のまちは自分達でつくる、その方針は尊重しなければならないが、各事業の効果や成果について、市はどれだけ実情を把握しているのか。無駄な事業はないのか。市民にコミ協の意図が伝わっているのか。市はもっと地域に入るべきと考える。ボトムアップしないと市全体のコミ協の評価が下がると思う。
- ・ 公平な立場で中心的な人としてサポーター職員さんが積極的なアドバイスが必要かと思います。ボランティア参加の職員さんには昇給、時に査定ポイントを上げる等、優遇してあげてほしいです。
- ・ 今の地域分権課のメンバーは非常によくやっていると思います。なんで7階なのか？1階のしかるべき場所に移設するべきです。
- ・ 分権と言いながら、市で管理したいのではないかとと思われる場面もある。市がもっとコミ協に参加して、現場の声を聞くべきだ。丸投げではなく、共に市民生活を良くしていこうとの信頼関係が必要ではないか。

- ・ ボランティア活動においては、事業提案者の熱量が最重要だと思います。補助事業の多少は結果論です。会長のなり手不足の原因は任期の長短ではないように思います。近年、サポーターの顔を見ていません。
- ・ 予算の作り方の流れ等をわかりやすく説明した資料等が欲しい 制度は住民の意見を反映しやすいのでもっと積極的に参加できる方法を確立していけたら嬉しいです
- ・ 予算額の決定は、もっと詳細に(計画性)チェックすべきと思う。協議会はあくまでもボランティアである
- ・ 各地域で秀でた施策について、市がリードして地域に横展開し、全体をレベルアップさせるのが良い。
- ・ お住まいの方すべてが対象である以上、デジタル化は認めるが、人間眼も耳も手も弱っていくのにもっとアナログ化してほしい。少なくともうちのコミ協は！

【事業提案額に関する意見】

- ・ ①地域分権制度を維持していくにはさらなる予算の増額必要 ②各自治会のそれぞれの活動内容の情報交換がもっと必要と思う ③若年層の参加 特に役員・会員への積極的な参加が増やすための対策(知恵)が必要？ ④高齢者が池田の中でも特に多い地域なので高齢者のさまざまな取り組み対策事業の推進を
- ・ 地域コミュニティ発足時より 20 年参加していますが、池田市の予算が少なくなって活動がやりにくくなっていると思います。学校運営協議会を通して、学校とも連携していますが、池田市からの予算・協力を、今まで以上によろしくをお願いします。
- ・ 池田市の財政(年度初めに発表)の点から予算額を今の半額でも良いのでは モット住民としてチエを使うベシ(お金有りき＝使わないと損と感じる)
- ・ 市民が町づくりに参加するきっかけになるとってもいい制度だと思う。行政側として各コミュニティがとって欲しい方向性があるのなら、提案書作成が本格化する前に示していただくと無駄な提案のための時間を使わなくてすむ。私個人的には提案限度額は今の半分でもいいのではないかなと思う。その方があれもこれもみたいな提案はなくなるのではないだろうか。大きな改修については別枠で協議になるでしょうが。

【制度の見直しに関する意見】

- ・ 全国でこのような取り組みは少ないと聞いていますが、とてもいい取り組みだと思います。問題点・課題を点検しながら、解決してよりよいものにしていければいいと思います。
- ・ 分権制度は継続していく事で地域住民の自立・自覚が出てくると思います。
- ・ 良き制度を更に発展してほしい！
- ・ 予算があり、自分達でいろいろなことが出来るのは良い制度だと思います。しかしボランティアとして担ってくれる人が少なく、謝礼金を払わなくてはいけないのなら、池田市の赤字予算から考えるとこのまま続けるのは難しそうです。
- ・ 地域分権といいながら行政は最少限程度しか権限を委譲していない
- ・ 町会代表による予算獲得合戦の様相を呈していることに疑問を感じる
- ・ 20 年そろそろ、存続を考える時期。

- ・ 市の下請けではない。
- ・ 人材がないため、継続できないのであれば、その地域は廃止にすれば良いと思う。無理に継続する必要はなく、なり手がいない地域は、活動を停止または、解散すればよいと思う。停止、廃止、解散した地域に関しては、地域が担っていた活動を市に返還したらいいと思う。若者がいないと言う声が多いが、当事者が必要としていないのであれば、その若者を強制的に参加させることは難しいので、若者の意見はないとして、進めていくのが妥当であると思う。若い世代が知らないのであれば、必要と感ずるための政策や広報活動が必要ではないかと思う。
- ・ 世代を超えた多くの市民の方の意見や他市で地域分権をやっている所の情報ややり方を参考にすれば良いと思います。
- ・ 日本発の制度 市長が変わっても継続する(政党の趣旨に拘らず続ける)こと
- ・ 本当に必要な制度なのか。倉田元市長が考えた目的を大きく変わっている。早急に解体してほしい
- ・ 目下の課題は1:住民参加の広がり、2:担い手不足、3:地域間格差、4:権限の限定性と思います。a:市と地域の協働関係の再考、b:ソフト事業(情報の発受信を含む)へ展開、c:地域の人材育成 以上の問題解決に向けた1つの手段として、経験と実績豊富な IBS クラブの活用を提案します。関係者が一丸となって事に当たれば成就すると思います。
- ・ 発足から 20 年、事業提案のマンネリ・予算のムダ使い、一部の人の自己満足。使わな損的な感覚 地域は住民の声を吸い上げ、提案のみで、市がお金を管理する。伝統行事、お祭り、運動会等は地域のつながりを深めるため大事である。研修旅行も一考
- ・ つかみ金のような予算編成権はやめるべき
- ・ 予算ありきでなく必要な事業案が上がった時に予算書を提出する方法が良いと思う
- ・ 設備の設置や維持管理はコミ協の提案で採用されれば市が実施することが望ましい。

【地域コミュニティ推進協議会の組織運営に関する意見】

- ・ 仏作って魂入れず。設立の主旨を再度徹底して欲しい。例えば各 11 地区の役員を一堂に集め、研修を行う。
- ・ 地域住民みんなのものであるはずの地域分権制度が立ち上げ当時の会員の思い入れの強さゆえ、一部の人の許可を得てしか動けないものになっている。また、年配者が役職にこだわるあまり、実務を担う若手がしらけている。ボランティアとは？に立ち返って欲しいし、年代的なものもあるが若手は年配者のコマかのようにになっている部会もある。リテラシーや地域分権制度を通しての活動のブラッシュアップがない。
- ・ 役員が半固定化し、会長の 6 年継続でトップダウンすべてで個人的考え方に徹していて人材の育成にはほど遠くコミュニティではない。
- ・ 役員は年々高齢化していて、成りてがないのがこれからの課題だと思います。
- ・ 発足して 10 数年経過し、役員も多数交代しているため、役員間でどのようなまちづくりをするか共有されていない。ハード面は良しとして、ソフト面は方向性を決めた方が効果的となる。(例えば「挨拶の行きかうまち」「花一杯のまち」「安全安心のまち」など)

- ・ 各々の地域の情報、例として人口構成、緑化率、公共施設、コンビニや商店数など自分が住んでいる地域の全体像をつかむことが必要だと思います。それによって地域をどうするか、智恵が出るのではないかと思いますがいかがでしょうか。
- ・ 学生も企画や運営に(できる範囲でいいので)関わりやすくなる様なしくみができたらいいなと思います
- ・ 補助金事業の比率が多く、市と連携している感がないのでは。謝礼金の支払いには反対です。自治会にも影響します！ 地域にある自治会＋一般参加の人員構成がベストと思います。理想は”連合自治会”のような形になれば、地域の声が反映しやすいのでは。現状は会員のやりたいことをやっているような感じです。
- ・ 町会・消防団その他といかに連携・統合に進めてゆくのが良いか
- ・ 町会、自治会等加入者が減っており、住民同士の協力体制がうまく回転しておらない。何とか加入してもらう方法等を真剣に市全体で検討してほしい。

【制度の周知に関する意見】

- ・ 地域の住民の多くはこの制度を知らない。楽しい行事などには参加するが、その行事がどのような経緯でどんな人が関わって開催されているのか知らない。なんか…いつもの人達がやってるわ～というぐらゐの認識。近所の人はこの制度のことを知らない。気にも留めていない。特定の人達がやってるわ～という感じ。もっと制度の周知と全員参加を呼び掛ける。
- ・ コミセンって何？とよく聞かれます。とにかく存在を皆さんに知らせて頂きたいと思います。始まりの頃ですが、予算をどう使うかと不要なものを買ったり部屋を作ったりと無駄な使い方が多かったように感じました。それ等にお金を使うのなら他の団体にも配布してほしいという声も聞いたことがあります。
- ・ 地域住民がもっと気軽に地域分権活動に参加できるよう情報発信を進め、身近な要望が具体的に実現できた経験を与えてほしい。
- ・ 分権制度についてもっと PR をお願いしたい。
- ・ 市民に対する地域分権の継続的な定期的な相談窓口開設。説明会の開催。大規模・本格的な市開催の地域分権 20 周年記念イベントの開催。

【その他】

- ・ 会員の方ががんばって下さっているのが良くわかりました 若い方がもっとかかわって下さると、と思いますが、私もですが、今までこんなにがんばって下さってるのを知らなかった。イベントもあるなあ～くらいでした。自分たちの問題であると考える事は大事ですね。
- ・ 会合等に出席できていないこともあり、まだ十分に理解できていないことが多いのでアンケートにお答えすることができていません。すみません
- ・ 地域住民が納得出来る活動継続が望ましい
- ・ 地域分権制度について基本的な知識もないまま活動に参加しているようで、十分な回答ができずすみません。

4. 参考資料（調査票）

「地域コミュニティ推進協議会 会員向けアンケート」について（ご協力のお願い）

平素より、地域分権制度の推進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成19年6月に開始した本制度につきまして、来年度は制度開始20年目の節目の年を迎えますことから、有識者等による「地域分権検討会議」を開催し、これまでの効果検証とともに、これからの制度のあり方について見直しを図ってまいりたいと見込んでいます。

この見直しの検討材料として、地域コミュニティ推進協議会の会員のみなさまからのご意見を参考にさせていただきたく、アンケートを実施いたします。

本アンケートは無記名方式であり、集計作業はコミュニティ推進課にて行います。

個人が特定されることはありませんのでご安心ください。

【3月22日(日)】までに、下記のいずれかにてご回答をお願いいたします。

①インターネット：右のQRコードよりご回答ください。

②郵送：本紙に直接記入し、返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。



年度末のお忙しい時期とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

ご不明な点などございましたら、下記までお問い合わせください。

池田市市民活動部 コミュニティ推進課
TEL:072-754-6641

地域コミュニティ推進協議会 会員向けアンケート(回答票)

特に記載のないものについては、あてはまるもの1つに○をつけてください。

《あなたご自身のことについてお聞きます》				
所属 地域	①池田小学校区	②秦野小学校区	③北豊島小学校区	④呉服小学校区
	⑤石橋小学校区	⑥五月丘小学校区	⑦石橋南小学校区	⑧緑丘小学校区
	⑨神田小学校区	⑩ほそごう学園(旧細河小学校区)	⑪ほそごう学園(旧伏尾台小学校区)	
性別	①男性	②女性	③その他	
年齢	①19歳以下	②20～29歳	③30～39歳	④40～49歳
	⑤50～59歳	⑥60～69歳	⑦70歳～79歳	⑧80歳以上
職業	①会社員・正社員・正職員(非営利法人勤務者)		②事業主・会社経営者	
	③自由業(弁護士・開業医・個人教師等)		④公務員	
	⑤家業手伝い(農林業含む)		⑥パート・アルバイト・派遣社員等	
	⑦主婦・主夫		⑧学生	
	⑨無職		⑩その他()	
地域コミュニティ推進協議会(以下、『コミ協』)への加入年数(通算)				
①1年未満		②1年以上5年未満		③5年以上10年未満
④10年以上15年未満		⑤15年以上		
コミ協における役員経験(会長含む)の有無				
①現在、役員である		②過去に役員をつとめたことがある		③経験したことがない

コミ協の活動にはどの程度参加していますか。それぞれ当てはまるものに✓を入れてください。				
	ほぼ毎回参加 している	半分程度参加 している	ほぼ参加して いない	わからない
総会	☐	☐	☐	☐
総会以外の定期的な会合や打合せ	☐	☐	☐	☐
自分の所属する部会の事業や会合	☐	☐	☐	☐ (部会がない)
コミ協主催のイベントやお祭りなどの準備・手伝い	☐	☐	☐	☐
あなたがコミ協に加入したきっかけを教えてください。(複数回答可)				
①制度開始時の説明会(平成19年)に参加して		②広報誌やコミュニティ紙、チラシなどを見て		
③自治会や地区福祉委員会、PTAなどのつながりを通じて				
④ご近所・友人・親同士の付き合いで		⑤コミ協主催のイベントに参加して		
⑥その他()				
今後も引き続き、コミ協会員として活動が続けたいと思いますか。				
①思う		②思わない		
それはなぜですか。また、やりがいを感じるのはどのような時ですか。				

《あなたが所属するコミ協についてお聞きします》

問1 あなたが所属するコミ協では、事業提案等について、活発に議論が行われていると感じますか。

①とても活発である	②やや活発である	③あまり活発でない	④活発でない
-----------	----------	-----------	--------

問2 会合の開催頻度などは適切だと感じますか。

①適切	②回数が多い	③回数が少ない
-----	--------	---------

問3 あなたが所属するコミ協の構成について、それぞれどのように感じますか。

人数	①ちょうどよい	②多い	③少ない
役員割合	①ちょうどよい	②多い	③少ない
男女比	①ちょうどよい	②偏りがある	
年齢層	①ちょうどよい	②偏りがある	

→「②偏りがある」場合、どのようになればよいと思いますか。

()

問4 コミ協から提案される事業は、市が実施する事業(防犯カメラや掲示板の設置など)、補助金の交付を受けてコミ協が実施する事業(イベントの実施やコミュニティ紙の発行など)に分かれています。

あなたが所属するコミ協の補助金で実施する事業の数について、あなたはどのように感じますか。

①適切	②補助事業が多い	③補助事業が少ない	④わからない
-----	----------	-----------	--------

問5 コミ協が今後も継続して事業を続けていくにあたって、あなたが課題と感じているものに3つまで○を付けてください。

①地域住民における当事者意識の不足	②活動する人材の高齢化・固定化
③若い世代の意見が十分に反映されていない	④住民から広く意見を集約する仕組みがない・不十分
⑤活動する人材が不足している	⑥リーダーとなる人材が不足している
⑦若い世代が加入しないこと	⑧情報発信力が不足している
⑨デジタル技術の活用が不十分	⑩地域住民に制度趣旨が理解されていない
⑪地域内の団体や住民間で意見がまとまらない、連携がとりにくい	
⑫その他()	

問6 前問で選択した課題を解決するためには、どのような対応を行うべきと考えますか。
ご意見があればご記入ください。

《地域分権制度についてお聞きます》

問7 地域分権制度について、あなたはどのように思いますか。

①推進すべき	②ある程度推進すべき	③どちらともいえない
④あまり推進すべきでない	⑤推進すべきでない	⑥わからない

→④または⑤を選んだ場合、その理由をお聞かせください。

()

問8 地域分権制度がもたらしている効果について、実感するものを選択してください。

	とても感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない
様々な地域課題に対して、きめ細かく解決できるようになった	☐	☐	☐	☐
市政やまちづくりに対して身近な問題と捉えることができるようになった	☐	☐	☐	☐
地域の団結力やコミュニティのつながりが強まった	☐	☐	☐	☐
その他()	☐	☐	—	—

問9 コミ協の範囲について、現在は小学校及び義務教育学校(前期課程)の校区ごとになっていますが、今後はどのような範囲が適切だと考えますか。

①現在の範囲(11地域)が適切	②中学校区(5地域)が適切	③その他()
-----------------	---------------	---------

問10 コミ協が提案できる予算額(事業提案限度額)について、あなたはどのように感じますか。

①適切	②多い	③少ない
-----	-----	------

問11 制度開始当初、会長職については任期2年、再選1回まで(通算4年まで)としていただくようお願いをしていたところですが、現在、なり手不足が深刻化しています。
会長職の任期や再選制限について、あなたのお考えをお聞かせください。

①任期や再選に関する制限を完全に撤廃する
②これまでどおり、通算4年までというルールを継続する
③任期や再選制限の条件を変更する ⇒通算何年程度が適切と考えますか。 _____ 年
④その他(_____)

問12 各地域には2～4名、地域担当のサポーター職員(ボランティアの市職員)が配置されていますが、その必要性についてどう感じますか。

①必要であり、もっと関わってほしい	②現状維持でよい
③必要性を感じない	④サポーター職員の存在を知らなかった

問13 市(事務局)に求めるものを3つまで選んでください。

①事業提案に至る具体的アドバイス(法的整合性や必要経費の算出など)	②会議の開催や意思決定方法など、組織運営に関するアドバイス
③コミ協への研修強化(制度理解、コンプライアンス、リテラシーなど)	④協議会同士のつながりを深め、課題や取り組みを共有できるプラットフォームの構築や定期的な報告会などの開催
⑤地域分権制度に関する情報発信・広報の強化	⑥拠点として活用可能な公共施設の提供
⑦その他(_____)	

問14 2016年度に開催された前回の「地域分権検討会議」において、各地域におけるまちづくりの共通ビジョンの重要性について言及がありました。これを受けて、池田市では2022年度に全校区で「まちづくりトーク」を開催し、この話し合いなどをもとに『池田市地域ビジョン』を策定しました。
あなたは、この『池田市地域ビジョン』について知っていましたか。

①知っている	②知らなかった
--------	---------

『池田市地域ビジョン』はこちらから▶



問15 地域分権制度は、「自分たちのまちは自分たちでつくろう」をスローガンに、無償ボランティアを前提として開始した制度ですが、時代の変遷とともに、謝礼金等の活用なしには維持できない場面も生まれてきています。

コミ協メンバーへの謝礼金や賃金の支払について、あなたはどのように考えますか。

	必要である	必要でない
事業の実施やイベントなど、単発の作業	☐	☐
事務所当番など、週1回以上継続的に発生する作業	☐	☐

問16 その他、地域分権制度に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。返信用封筒にて、3月22日(日)までにご投函ください。